

未来を守る力ギを見つけろ。

# Security & Programming Camp 2009

セキュリティ&プログラミング  
キャンプ2009

“集え、コンピュータの未来を守るIT戦士たち”

主催/独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、  
セキュリティ&プログラミングキャンプ・コンソーシアム  
(財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)、NPO日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA))

共催/経済産業省  
後援/文部科学省(予定)

<http://www.jipdec.or.jp/camp/>

差出人 財団法人 日本情報処理開発協会「セキュリティ&プログラミングキャンプ2009事務局」  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8(機械振興会館内)

## 参加無料

交通費・宿泊費を含め、無料です。

# Security & Programming Camp 2009

## セキュリティ&プログラミングキャンプ2009

2004年度より毎年開催している「セキュリティキャンプ(セキュリティ&プログラミングキャンプ)」は、若年層のセキュリティ意識の向上と優秀なセキュリティ人材の早期発掘・育成という当初の目的に沿って、これまで数多くの将来有望な人材を輩出してきており、セキュリティ業界に留まらず各方面から、高度なIT人材育成の有益なイベントとして認知されつつあります。

6回目となる本年度は、さらに広い意味での高度IT人材の早期発掘と育成に向けて、昨年に引き続き、オープンソースやプログラミングの分野における優れた人材の早期発掘・育成を目的の一つに加えて、情報セキュリティやプログラミングに関する高い意識と技術力を持った人材の発掘と育成を行うべく、次世代を担う中等高等教育段階にある就業前の若者を対象に、合宿形式で情報セキュリティやプログラミングについて学ぶ「セキュリティ&プログラミングキャンプ2009」として実施いたします。

本キャンプは、セキュリティコースとプログラミングコースの2コース制で同じ日程同じ会場で開催します。本キャンプの概要は次の通りです。

### セキュリティコース

### 目的

高度なIT人材を発掘・育成する場の一つとして、情報セキュリティを中心としたITについての意識が高く、将来的に優秀なIT人材として期待されるIT技術者候補に対して、情報セキュリティを中心としてIT化実現のための技術的な目標と高い技術修得への励み、及び安全かつ信頼性の高いIT化の進展について正しい知識を与えることを目的とします。

### プログラミングコース

### 目的

高度なIT人材を発掘・育成する場の一つとして、高度なソフトウェアを設計・開発できる「可能性」がある若い人材を早期に発掘し、その可能性を現実のものに近づけていくために、プログラミングの楽しさやソフトウェアを開発して広く活用してもらうことの喜びを理解すること、及び安全かつ信頼性の高いIT化の進展について正しい知識を与えることを目的とします。

2つのコースを同時に開催することで、双方の参加者・講師陣・関係者が交流し、近い将来、本キャンプ参加者のコミュニティから情報セキュリティとプログラミングに関して優れた人材の輩出及び本キャンプを中心とした人的ネットワークの構築が図られ、各地で自律的な活動へと定着することを目指します。

### セキュリティ&プログラミングキャンプ2009の主な内容

○セキュリティコースでは、サーバセキュリティ、セキュアなWebプログラミング、セキュアなネットワークの構築、バケットやハードディスクの解析、無線LANや暗号化などについて、実習を中心にセキュリティ技術の研修を行います。参加者は、参加決定後、自分の興味に応じてクラス別選択科目、自由選択科目を組み合わせて受講していただきます。

○プログラミングコースでは、オープンソースソフトウェアとの付き合い方やプログラミング言語の正しい理解、基盤システムを作る楽しさ、コードリーディングやデバッグの正しい方法等の理解を深めってもらうため、実習を中心とした講義を行います。参加者は、共通専門科目を受講後、応募時に選択した組(OS自作組、言語組、Linux組)に分かれて講義・演習を受講していただきます。

○この他、業界の最先端で活躍中の識者(法曹関係者、業界の若手技術者など)による講演や、参加者・講師・関係者参加の交流イベント、さらにセキュリティおよびプログラミングの実際の現場を体感できる企業見学会を行います。

○両コースともグループ実習を行い、最終日には成果発表会を行います。

※ 講義科目の詳細については、セキュリティ&プログラミングキャンプ2009ホームページで順次お知らせします。

### 開催日

2009年8月12日(水)～8月16日(日) 4泊5日

### 開催場所

財団法人 海外職業訓練協会(OVTA) (千葉市美浜区、JR京葉線 海浜幕張駅下車徒歩8分)

### 参加資格

日本国内に居住する、平成22年3月31日時点において満22歳以下の学生・生徒。  
☆本事業の対象は就業前の教育段階における若者です。職業をお持ちの方はご参加いただけません。

### 募集人数

両コース合わせて約60名  
必ず1名で応募してください。(但し、20歳未満の方は保護者の同意書が別途必要になります)。

### 参加費

キャンプにかかる費用(自宅と会場間の交通費(実費支給、ただし経路、利用路線については主催者側が指定させていただきます)、宿泊費、食事代(3食)、講義代、テキスト代、機器使用料など)は全て無料です。

### 応募方法

参加希望の方は、自分が参加希望するいずれかのコース(組)の応募用紙(プログラミングコースには組別に3種類あります。)に、氏名、性別、住所、生年月日および年齢、所属先、電話番号、E-mailアドレス(主要な連絡はE-mailで行う予定です)、応募用紙にある質問事項について記入し、事務局まで、E-mail(添付ファイル)、FAX、郵送のいずれかにより送付してください。「セキュリティ&プログラミングキャンプ2009」のWebページに記入例があります。なお、参加者は厳正な書類審査により決定させていただきます。

☆必ずどちらかのコースを選択して応募してください。両方のコースに応募することはできません。

また、プログラミングコースについては希望する組を選択して応募してください。

E-mailで応募される場合には、必ずメールのタイトルを

セキュリティコース申込の方は「キャンプ2009 セキュリティコース参加申込」、

プログラミングコース申込の方は「キャンプ2009 プログラミングコース(※組)参加申込」と

参加希望する組名まで明記して、それぞれのコース別の応募専用アドレス宛に送信してください。

アドレスは以下のとおりです。

E-mail : sec-camp-entry@jipdec.or.jp (セキュリティコース応募専用)

E-mail : prog-camp-entry@jipdec.or.jp (プログラミングコース応募専用)

☆応募された方には、事務局より

「セキュリティ&プログラミングキャンプ2009 応募用紙受領」というタイトルの確認メールを送信します。

応募用紙送付後、2日間経過しても確認メールが届かない場合には、応募用紙が受領されていない場合がありますので、事務局まで必ずお問い合わせください。

### 応募締切

平成21年7月6日(月)17:00必着

(メール、FAXについても同日同時刻までに到着したものを有効とします)

キャンプにしかない出会いがあります。

### 2008年8月に開催された

セキュリティ&プログラミングキャンプ2008の一部を紹介します。

### キャンプは、セキュリティコースとプログラミングコースの2コース制

#### セキュリティコース概要

モラル面や法律面などの実習を加味して様々な側面からセキュリティ意識および技術の高い人材を育成することを目指して、セキュリティ技術の実習と演習を行いました。



#### プログラミングコース概要

オープンソースソフトウェアを基本に、アプリケーションプログラミングの楽しさを理解するとともに、オペレーティングシステムやDBMSをはじめとするミドルウェア、ソフトウェアを作るためのソフトウェアについての理解を深めました。



両コースとも、講義内容と連動して様々なテーマについてグループ演習を行い、最終日には研究成果発表会を行いました。

また、実際の業務の現場を体感できる企業見学会や、業界で活躍されている最先端の技術者の方々と交流会を通じて、業界、仕事、技術動向など、貴重なお話を聞くことができました。

キャンプ全体を通じて、情報セキュリティやプログラミングの最先端で活躍している講師の方々から学ぶ一方で、2つのコースを同時に開催することで、双方の参加者・講師陣・関係者が交流し、互いに切磋琢磨して、出身地や年齢の異なる様々な参加者との共同生活により、将来貴重なものとなる出会いがありました。キャンプ後もここで出会った仲間との交流は続いています。

